



大地

令和7年4月号

校長 指崎 邦久

満開の桜が目優しい葉桜へと変わり、季節が確実に進んでいることを感じます。子供たちが学校に戻り、令和7年度が始まりました。始業式の前日のことです。トイレから声が聞こえました。子供たちが気持ちよく使えるようにと、教員が掃除をしていました。2階の廊下の汚れを雑巾できれいにする教員もいました。教職員一同で子供たちが元気に登校してきたことをうれしく思っています。4月9日には、55名の新入生を迎え、363名の子供たちが元気に学校生活を送っています。入学式では、真剣に話を聞き相槌を打つ1年生や、立派に挨拶をした6年生、入場を拍手で迎え入れ退場まで見守った上級生等いろいろな子供の優しさが感じられました。

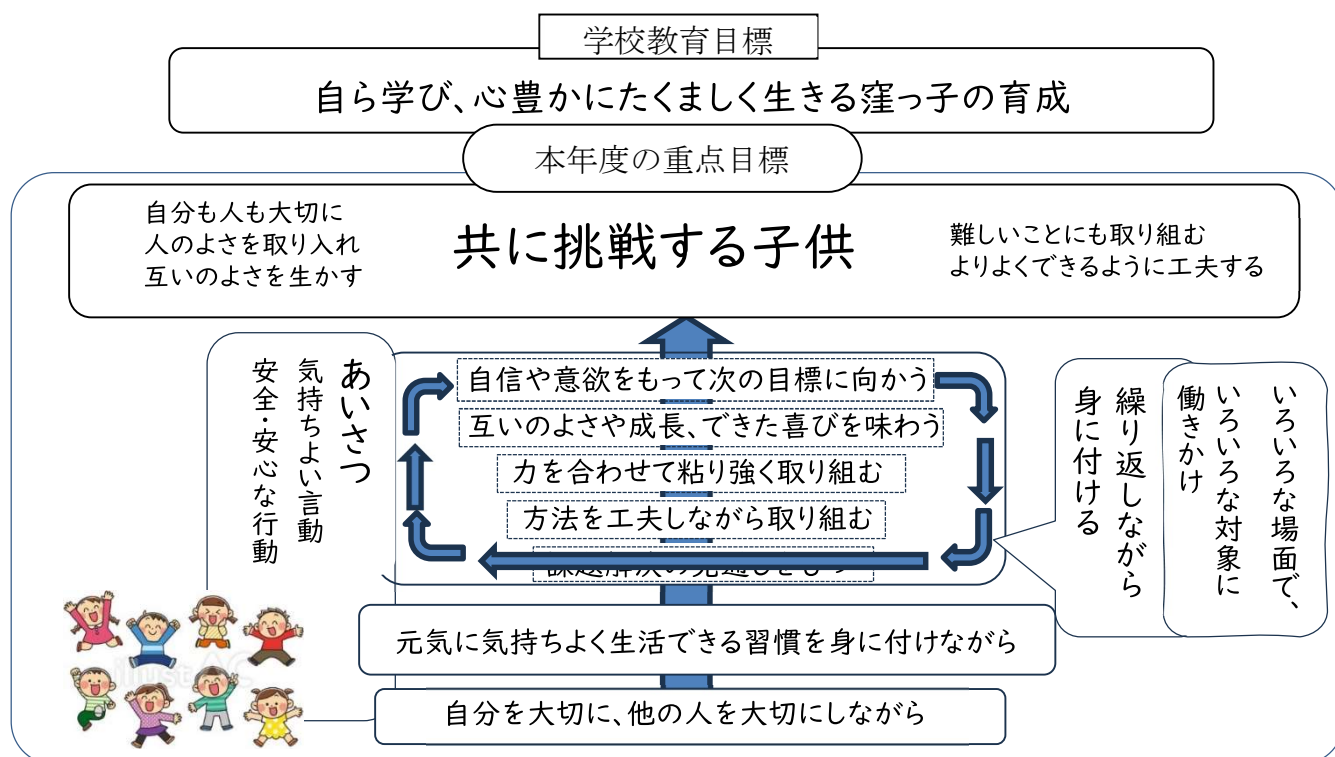


児童代表歓迎の挨拶

4月10日からの集団登校では、1年生の速さにあわせたり、手を引いたりして一緒に歩く上級生の姿や、1年教室でお世話をする6年生の姿が見られます。話を聞くと「大変です。でもかわいいです」と話してくれました。今年度も窪っ子が、成長できるように、教職員一同力を合わせていきます。

今年度の重点目標 「共に挑戦する子供の育成」

今年度、元気いっぱい、優しさいっぱい、工夫を楽しむ窪っ子が、将来も幸せに生きていく力の基礎を身に付けるために、以下のような教育目標・重点目標を掲げ、教育活動に取り組んでいきます。



今年度も「挑戦」します。自分も友達も大切にしながらよさを関わらせてもらいたいという願いのもと、「共に」という言葉を加え、重点目標を設定しました。挨拶を通して積極的に人と関わりながら、いろいろな場面でいろいろな対象に心身ともに元気で挑戦できるように、ご家庭とともに支えていきたいと思ひます。